

栃木県障害者スポーツ指導者協議会だより

# とちぎ・アシスト!



## 年頭のごあいさつ

栃木県障害者スポーツ指導者協議会  
会長 佐々木 俊郎



新しい年を迎え、はや1か月が過ぎました。

去年は、ロンドン・パラリンピックが開催され、テレビ放映が以前に比べ大幅に増えたこともあり、みなさまも、普段はあまり目のすることのないスポーツをご覧になった方も多いのではないでしょうか。また今年も、2020年の夏季オリンピックとパラリンピックの開催地が決定されますので、益々パラリンピックという言葉を目にしたり耳にする機会が増えることと思いますので、これを機会に障害者スポーツへの理解が深まることを期待したいと思います。

さて、本協議会でも、去年は栃木県障害者スポーツ協会の開催するスポーツ教室への指導員の派遣や、県スポーツ大会やカルフルとちぎへの協力、また、今年度新設された「障害者スポーツフェスタ2012」への協力等、少しずつではありますが活動が活発になってまいりました。しかし実情は、どの行事に行っても会う顔はみな同じ。「また会ったね、お互い大変だね」などと冗談を言う場面も……

今年度も残り少なくなりましたが、2月・3月にはステップアップ事業としてボッチャ(講義・実技)、スポーツ指導論(講義)、コントロールアタック(実技・演習)、救急法(含AED操作)を予定しております。また、来年度も、様々な企画を考えておりますので、今まで参加したことのない会員の皆様も、いったいどんなことをやっているのだろうという気軽な気持ちで、是非一度参加して下さるようお願いいたします。

最後に、5月に行われます総会の参加者も、ここ数年30人前後と寂しい状態が続いておりますので、こちら合わせて参加くださいますようお願いをいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## ◆ 活動紹介

Shimotsuga block

### 下都賀ブロック (ブロック長: 針谷 良七)

今年度、あじさいサロン(障がい者サロン事業)は(福)壬生町社会福祉協議会より業務委託を受け、6月より1月まで月1回開催し、合計で8回実施しました。参加者平均人数は20名ぐらいです。3月に行われるコントロールアタック大会を目指して、あじさいサロンでも壬生版コントロールアタック大会をやったり、人気のスポーツチャンバラは講師にお願いして2回実施しました。ニュースポーツ等々チームで競うもの、個人競技のもの。チームが負けて全員が悔しそうに「次はがんばる!」というような光景や失敗しても皆で助け合ったり、大きな笑いの渦で一つになったり、本当に楽しい現場でした。25年度も継続予定ということで、指導員の方もさらにパワーアップして臨んでいきたいと思えます。(文責: 渡辺みゆき)

## ◆ 活動紹介

Ansoku block

### 安足ブロック (ブロック長: 大木 美智子)

平成24年5月13日開催の総会で、安足ブロック長になりました大木美智子です。中級や長年指導者として活躍している方がいる中で、大変恐縮しております。皆様、よろしくお願い致します。

5月26日(土)に『たぬまアリーナ』で行われました「佐野市障がい者スポーツ教室」についてご報告します。五月晴れの中、私は初めての参加でしたが、他支部から参加した先輩指導員の方々と一緒に、多くの参加者がいきいきと楽しく笑顔いっぱい、「ふうせんバレー」と「コントロールアタック」などの競技に体を動かしていました。参加者の中には顔見知りの方も多く、おかげさまで緊張することもなく楽しい時間を過ごすことができました。手話通訳者の方も一緒ですが、簡単な会話ができることの大切さやスポーツで流す汗の素晴らしさを( )回参加できなかった障がい者の方達にも知っていただきたいと思いました。(文責: 大木美智子)





## ◆ 活動報告

Tochigi handicapped person Sports Convention

# 第8回栃木県障害者スポーツ大会

晴天の空の下、32名の指導員の方々に集まりいただき、また学生ボランティアの協力も得てふれあい広場は盛況のうち無事終了しました。今年もチャレンジスポーツ・ニュースポーツ・体験コーナーの3部門に分かれ実施しました。例年と少し場所を変え、広場中央での活動となりましたが参加された方々は楽しくのびやかに挑戦していました。競技用マラソン車イスが手でも簡単に持ち上げられる体験をしてびっくりしていた子供達が沢山いました。また、次回会えることを楽しみにしております。

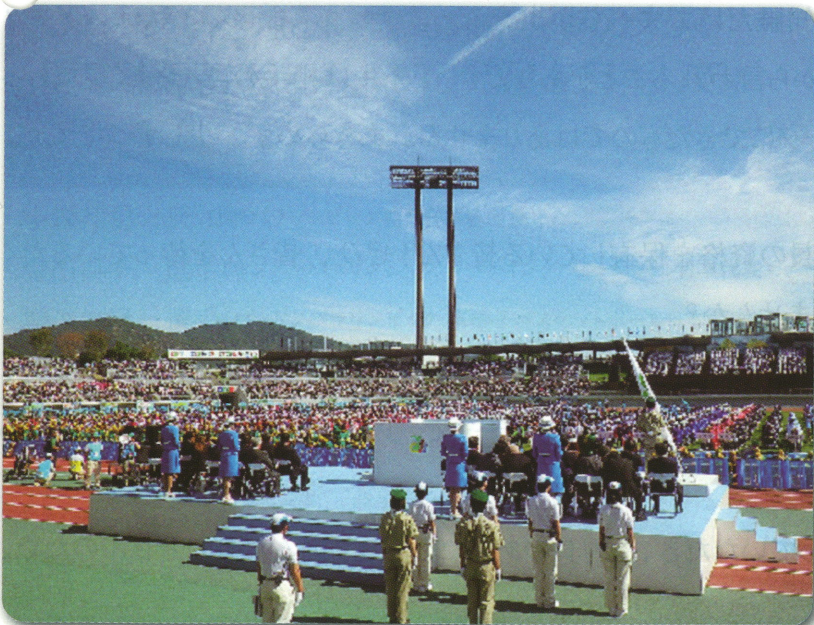


次回は今年の内容等を振り返りより充実したものにしたいと思っております。会員の皆様におかれましては是非色々な種目を体験できる場ですので遠慮なく参加され、指導者同士の交流を深めてみてはいかがでしょうか。よろしくお祈りします。(文責: 郡司原之)

## ◆ 活動報告

Gifu-Seiryu Sports Convention report

# 第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会の報告



### 栃木県選手団メダル獲得数

◎金メダル	.....	3個
◎銀メダル	.....	4個
◎銅メダル	.....	11個

合計  
**18**  
個

障害者スポーツ大会としては国内最大規模の大会である「第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会」が開催されました。この大会には、全国各地から約3,200名の選手が参加しましたが、本県からは22名の選手が陸上競技などに出場し、健闘しました。

(文責: 小金沢茂)



## カルフルとちぎ文化祭(浦田邦彦:宇河ブロック)

昨年11月2日、3日にカルフルとちぎ文化祭が開催されました。両日とも晴天に恵まれ、大勢の参加者が足を運んでくださいました。

わたしたち栃木県障害者スポーツ指導者協議会もイベントコーナーを設け、参加者の皆さんに喜んでいただけました。初トライのアウトドアコントロールアタックをはじめ、フライングディスクアキュラシー、ストラックアウト、バグジー等、日頃インドアで体験する競技を、晴天のもとでの交流は有意義な体験でした。

しかし、このようなイベントが行われていることがたくさんの指導員や指導員を志そうとしている人たちに伝わっていないのが現実です。仮に伝わっていたとしても、「自分はその場において良いのか?どのようなことをすれば良いのか?」という不安に陥り、せっかく障害者スポーツ指導員という資格を取得していても、関わることができずにいる人たちが少なからずいることと思います。当然、指導協の情報伝達の不備が原因の一端であることは事実ですが、しかし私たち指導員自体にも課題がないとは言えません。

資格取得後、その資格を活かせる場があるにもかかわらず、無関心になってしまっておられませんか?

当然、障害者スポーツ指導員養成講座で得た知識だけですべてが出来るわけではありません。私はスポーツ指導を職業にしていますので、よく生徒さんたちから言われることがあります。「先生は相手のことをよく見てしっかりと話してくれる」と…しかし、これは一朝一夕にできたものではありません。あきらめず、少しずつですが、場に慣れ、人に慣れ、今の自分があります。

今、指導協に籍を置き、障害者スポーツ指導員の資格を保有している皆さん!ぜひ、皆さんを待っているたくさんの人たちとの「楽しいひととき」を体験してみませんか?

初めての事は誰でも、不安や躊躇があります。こんな私でも不安で前日は眠れない時もありました。しかし、その場になり、参加者の笑顔と出逢い、また、諸先輩方のアドバイスやサポートで、少しずつでも関わりが楽しくなってきました。

「はじめの一步」この勇気をほんの少しでも持っていただき、指導員のあなたを待っている大勢の皆さんのため、これから一緒に活動できることを願っています。





# 障害者スポーツフェスタ2012

【期日】平成24年12月9日(日)

【会場】わかくさアリーナ、とちぎ福祉プラザ

【主催】障害者スポーツフェスタ2012実行委員会

## ●基調講演

### 『ロンドンパラリンピックを振り返って』

#### 日本パラリンピック委員会事務局長

中森 邦男 氏

○公益財団法人日本障害者スポーツ協会、日本パラリンピック委員会の中森邦男様に基調講演を頂きました。中森氏は、ロンドンパラリンピック日本選手団団長として参加しました。

中森氏によれば、日本選手団の成績が、2004年が金メダル17個でランキング10位でしたが、2008年北京では金メダル5個で17位、2012年では金メダル5個で24位と落ちてきている状況にあり、国をあげて強化していく必要性を訴えていました。



## ●パネルディスカッション

### 『スポーツの魅力と障害者スポーツの未来

#### ～更なる障害者スポーツの発展を目指して』

#### パネラー

- ・中森邦男 氏(日本パラリンピック委員会事務局長)
- ・金田典子 選手(ロンドンパラリンピック、シッティングバレーボール日本代表)
- ・増渕倫巳 選手(ロンドンパラリンピック、車椅子バスケットボール日本代表)
- ・佐藤悠介 氏(栃木SCドリームアンバサダー)
- ・駒崎 茂 氏(栃木県身体障害者水泳協会会長)

#### コーディネーター

- ・菅谷 薫 氏(高根沢町教育委員長)





## 障害者スポーツフェスタ2012 (永島 一顕: 宇河ブロック)

昨年12月9日、「障害者スポーツフェスタ2012」が初めて開催され、当指導者協議会からも、多くの方がボランティアとして参加しましたので、フェスタの様子などを交え、ご報告したいと思います。

フェスタは、とちぎ福祉プラザをメイン会場として、盛りだくさんの内容で催されました。昨年のロンドンパラリンピックの参加選手らを招いてのパネルディスカッション、県内プロスポーツチームの選手がフェスタを見て回り、様々な障害者スポーツを体験しながら多くの人とふれあうなど、素晴らしい企画が盛り込まれていたと思います。

ただ、広報活動や運営面に目を向けると、まだまだ検討、改善の余地が山ほどあるという印象が残りました。

多数参加した協議会のメンバーも、会場で何をやるのかを当日まで知らされてなかったり、アクシデントが発生した場合の対処法が十分に伝えられておらず、現場であたふたしてしまったシーンもあったようです。その中、事故等の発生もなく済んだことは、色々なことに対応できる個人個人のスキルの高さがあったからだと感じています。

当協議会は、フェスタ主催者の一員でもありましたが、今回は、上野事務局長に全てお任せしてしまったというのが実情です。フェスタが2回目、3回目と続いていくのであれば、当協議会としても、できるだけ多くのメンバーが絡み、サポート態勢を整えていく必要があるでしょう。さらに、実行委員会には第1回開催を経ての意見を積極的にくみ上げていただき、今後のイベント開催に役立てていくことを望みたいと思います。





# 平成24年度栃木県障害者スポーツ指導者協議会活動報告

実施日	事業名	会場	会員数
4月21日(土)	第1回理事会	とちぎ福祉プラザ	16
5月13日(日)	総会	とちぎ福祉プラザ	29
	研修会	わかくさアリーナ	32
7月7日(土)	第31回栃木県障害者卓球選手権大会	宇都宮サン・アビリティーズ	7
8月26日(日)	障害者スポーツ総合推進事業・選手強化事業		18
9月30日(日)	第8回栃木県障害者スポーツ大会	県総合運動公園ほか	32
10月11日(木)～16日(火)	第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会	岐阜県	1
10月27日(土)	宇都宮市ふれあいスポーツ大会	宇都宮サン・アビリティーズ	4
11月2日(金)～3日(土)	カルフルとちぎ文化祭	とちぎ福祉プラザ	9
12月9日(日)	障害者スポーツ総合推進事業・障害者スポーツフェスタ2012	とちぎ福祉プラザ	35
12月15日(土)	第2回理事会	とちぎ福祉プラザ	15
2月	会報「アシスト」発行		
3月6日(水)	都道府県・指定都市 障害者スポーツ指導者協議会	東京都	1
3月17日(日)	第4回栃木県障害者コントロール・アタック大会	わかくさアリーナ	8
9月～2月	障害者スポーツ総合推進事業・障害者スポーツ体験事業(12回)		延べ66名
4月～11月	障害者スポーツ教室(19回)		延べ66名

※指導者協議会は県内7ブロックに分かれて活動しています。上記活動報告については、各ブロック活動は記載していません。各ブロック活動の詳細については、資料が出来る次第、「栃木県障害者スポーツ協会」ホームページなどで報告します。

## ■指導者協議会のブロック組織及び人数

平成24年12月現在

名称	構成	ブロック長	指導員人数
宇河	宇都宮市・上三川町	勝島 富美子	68
上都賀	日光市、鹿沼市	広瀬 浩	27
芳賀	真岡市、市貝町、芳賀町、益子町、茂木町	水沼 桂子	22
下都賀	栃木市、小山市、下野市、岩舟町、野木町、壬生町	針谷 良七	77
北那須	大田原市、那須塩原市、那須町	郡司 原之	46
塩谷・南那須	矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町 那須烏山市、那珂川町	相田 美智子	20
安定	足利市、佐野市	大木 美智子	32
その他	県外		13

合計 305



# Dr.大橋のワンポイント

栃木県東健康福祉センター所長 大橋俊子(栃木県障害者スポーツ指導者協議会副会長)

指導者自身の健康づくりも大切です。

そこで、生活習慣病予防を踏まえたワンポイント!

\*まずは日頃の生活習慣から見直しましょう!

\*車の定期点検だけでなく、自身の定期点検(人間ドックや職場健診、住民健診)を!



**食事は腹八分目(もったいない精神は過去?)**

**間食はしない(おやつも食事換算で)**

**料理の味は、薄味(塩味も甘味も)**

**快便を(繊維質の多い緑黄色野菜を食べよう)**

**適度な運動と休息、睡眠も。**

**お酒はほどほど、タバコは×、ストレス解消(笑いのある暮らし)**

## 事務局からのお知らせ

### ◆総会のお知らせ

【日時】平成25年5月18日(土) 10:00~12:00

【場所】とちぎ福祉プラザ 福祉研修室 A・B

### ◆研修会のお知らせ

【日時】平成25年5月18日(土) 13:00~16:00 ※総会後に実施

【場所】わかくさアリーナ

【内容】卓球バレー(実技)

講師:堀川祐二氏(日本卓球バレー連盟副会長、普及委員長)

◎卓球バレーについて

1チーム6名で卓球台を取り囲むように座ってプレーします。

車椅子や椅子に座るため、下肢障害はほとんど影響がなく、また、片手でプレーするため上肢の障害者も参加可能です。全国障害者スポーツ大会では2度オープン競技として採用されています。全国2/3の県で普及されていて、今回、栃木県では初めて紹介されます。

### 【問合せ】

栃木県障害者スポーツ指導者協議会(事務局長:上野悟)

上三川町三村364-4 TEL) 080-4163-5982 Fax)0285-56-6373

※事務局からのお知らせは、『栃木県障害者スポーツ協会』ホームページで随時掲載しています。